

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月25日

計画の名称	安全・安心のまち 割谷の下水道（防災・安全）											
計画の期間	平成 3 1 年度 ~ 令和 0 5 年度 (5年間)											
交付対象	刈谷市											
計画の目標	持続可能な下水道サービスを提供し、安全・安心のまちを創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	994	A	994	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	中部処理分区における老朽管対策実施率を12.6%（H31当初）から16.5%（R5末）に増加させる。 中部処理分区における老朽管対策の実施率（%）=改築実施済延長（km）/改築対象延長（km）×100	13%	15%	17%
2	南部処理分区他における重要な管渠の耐震対策実施率を0.0%（H31当初）から100.0%（R5末）に増加させる。 南部処理分区他における重要な管渠の耐震対策の実施率（%）=耐震化実施済延長（m）/耐震化対象延長（m）×100	0%	100%	100%
3	ストックマネジメント計画策定の進捗率を50.0%（H31当初）から100.0%（R5末）に増加させる。 ストックマネジメント計画策定の進捗率（%）	50%	100%	100%
4	ストックマネジメント計画に基づいた下水道管路の点検調査実施率を0.0%（H31当初）から100.0%（R5末）に増加させる。 ストックマネジメント計画に基づいた下水道管路の点検調査実施率（%）=点検調査実施済延長（km）/点検調査対象延長（km）×100	0%	33%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="radio"/>	- 連携中枢都市圏を含む	<input type="radio"/>	- 流域水循環計画を含む	<input type="radio"/>	- 地域再生計画を含む	<input type="radio"/>

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
		一體的に実施することにより期待される効果											H31	R02	R03	R04	R05		
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(合流)	改築	下水道長寿命化対策事業	老朽管改築	刈谷市						35		策定済
		長寿命化計画																	
	A07-002	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	-	改築	下水道ストックマネジメント事業	下水道ストックマネジメント計画策定	刈谷市						29		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(合流)	改築	下水道ストックマネジメント事業	老朽管改築、人孔蓋取替	刈谷市						318		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	-	改築	下水道ストックマネジメント事業	管路点検調査	刈谷市						93		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	ポンプ場	改築	下水道ストックマネジメント事業	ポンプ施設改築	刈谷市						474		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-006	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠(汚水)	改築	下水道施設耐震化対策事業	管渠耐震化	刈谷市						13		策定済
		総合地震対策計画																	
	A07-007	下水道	一般	刈谷市	間接	民間	-	-	雨水貯留助成	雨水貯留助成	刈谷市						3		-
		新世代下水道支援事業																	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

刈谷市水資源部下水道課

事後評価の実施時期

令和7年度

公表の方法

市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設の老朽化対策及び耐震対策を実施し、持続的な下水道機能を確保することで市民生活の安全・安心に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き老朽化対策を推進し、持続的な下水道機能の確保に努める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	17%
	最終実績値	17%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	最終目標値	100%
	最終実績値	100%